

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用					
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置					
1	男 70代	狭心症 (胃炎, 高血 圧, 上室性頻 脈)	75mg 14日間 ↓ (6日間投与 なし) ↓ 12日間	血小板減少 投与7日目 投与13日目 投与14日目 (投与中止日) 中止7日後 (再投与開始日) 再投与8日目 再投与11日目 再投与12日目 (再投与中止日) 再投与中止11日後 再投与中止15日後 再投与中止16日後 再投与中止36日後	感冒症状。関節痛・全身倦怠感。 38.5℃の発熱のため、入院。 肝機能障害, 汎血球減少, 凝固異常, 炎症反応高値あり (AST(GOT)180 IU/L, ALT(GPT)89 IU/L, CRP10.0mg /dL, 白血球数3000/mm ³ , ヘモグロビン12.6g/dL, 血小 板数6×10 ⁴ /mm ³)。本剤投与中止。抗凝固剤及び抗生 剤にて改善傾向。感染症に伴うDICの疑い(focus不明)。 胸部症状の増悪を認め, CAGを施行し, LAD #6 just proximalの90%狭窄の1枝病変が判明。 点滴にて症状は治まっていたが, 早期のPCIが必要と判 断し, 白血球数7700/mm ³ , 血小板数15×10 ⁴ /mm ³ と改 善していたため本剤75mg/日投与再開。 データは改善し, 胸部症状も安定したため, 更に1週間の 経過観察の後, PCIを予定した。肝機能障害, 汎血球減 少症:軽快。 発熱し, PCIを延期。 本剤投与中止。炎症反応上昇, 凝固異常軽度, 血球減 少軽度。抗生剤, 抗凝固剤再開。一旦解熱傾向。炎症改 善傾向となる。発熱:軽快。 AST(GOT)23 IU/L, ALT(GPT)33 IU/L, CRP 7.2mg/dL, 白血球数6300/mm ³ , ヘモグロビン9.3g/dL。 血小板数0.2×10 ⁴ /mm ³ まで低下。出血傾向出現。血小 板輸血, プレドニゾン内服。人免疫グロブリン投与(5日 間で, 人赤血球濃厚液8単位, 人血小板濃厚液80単位を 使用)。 血小板数3×10 ⁴ /mm ³ と改善傾向。以降は血小板数改 善傾向。凝固異常や炎症反応増悪なく, プレドニゾン 内服漸減。 胸痛後のVTを生じたため, 緊急PCI(BMSにて90%→0%) を施行した。以後は徐々に回復し, 血液データも改善した ため, アスピリン, ワルファリンカリウム内服にて退院(入 院54日間)となった。 血小板減少症:軽快。				
臨床検査値									
			投与5日前	投与14日目 (投与中止日)	中止7日後 (再投与開始日)	再投与中止 1日後	再投与中止 11日後	再投与中止 18日後	再投与中止 22日後
	赤血球数(×10 ⁴ /mm ³)		18.8	6.0	15.0	19.9	0.2	9.3	19.6
	白血球数(/mm ³)		7200	3000	7700	3400	6300	5800	4200
	赤血球数(×10 ⁴ /mm ³)		443	417	314	397	354	319	446
併用薬:アスピリン, オメプラゾール, ニフェジピン, アムロジピンベシル酸塩, バルサルタン, メチルジゴキシン, トリクロル メチアジド									

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
2	女 80代	心筋虚血, 狭心症 (高脂血症, 高血圧, 逆流性食道炎, 心不全, 心房細動)	300mg 1日間 ↓ 75mg 15日間	横紋筋融解症 投与開始日 CABG後の狭心症に対してSeg(1)-(2)にPCI予定とし, 本剤300mg/日をローディングドーズとして投与。 投与2日目 本剤75mg/日を維持量として開始。 投与4日目 PCI(DES留置2本)施行。 投与16日目 (投与中止日) 頸部～両肩及び下肢筋肉痛が強く入院。CK(CPK)3396 IU/L, トロポニンT: (一)より横紋筋融解の診断で入院。本剤投与中止。プラバスタチンナトリウムも同時に中止。 中止11日後 以後, 自然に軽快。CK(CPK)49 IU/L。代用としてシロスタゾール200mg/日, サルポグレラート塩酸塩300mg/日開始した。		
臨床検査値						
		投与5日目	投与16日目 (投与中止日)	中止1日後	中止2日後	中止9日後
CK(CPK) (IU/L)		29	3396	2096	1166	42
AST(GOT) (IU/L)		16	120	106	91	22
ALT(GPT) (IU/L)		6	32	33	35	19
BUN(mg/dL)		—	—	—	—	13.9
Cr(mg/dL)		—	—	—	—	1.2
併用薬: プラバスタチンナトリウム, フロセミド, アスピリン, バルサルタン, ファモチジン, ジゴキシン, カルベジロール, ワルファリンカリウム						